FORA®

本製品に関するお問い合わせ先
株式会社フォラケア・ジャパン
TEL:03-5782-7627
土・日・祝日を除く9:00～17:45

製造販売元　**株式会社フォラケア・ジャパン**
〒108-0075 東京都港区港南2丁目11番18号天王洲デュープレックス101号室

FORA®

フォラケア　ホームボイス

自己検査用グルコース測定器

取扱説明書

ご使用の前に、本取扱説明書及び添付文書をよくお読みの上、
必ず医師の指示に従って、正しく測定してください。

はじめに

このたびは、フォラケア ホームボイスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

◎ ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。

◎ この取扱説明書は、必要なとき、すぐに取り出せる場所に保管してください。

◎ 付属の添付文書及び組み合わせて使用するセンサー、穿刺器具、ランセットの添付文書も併せてお読みの上ご使用ください。

◎ 測定結果により医師の指示なく経口剤又はインスリンなどの投与量を変えないでください。

◎ 測定結果に疑問を感じたときは、必ず主治医の先生にご相談ください。

医療機関の連絡先

ご不明な点がございましたら、下記電話番号までご連絡ください。

本製品に関するお問い合わせ先
株式会社フォラケア・ジャパン
TEL: 03-5782-7627
（土・日・祝日を除く９：００～１７：４５）

バージョン 1.0 2012/09　311-4227700-001

目次

安全上の警告・注意 03
警告 03
重要な基本的注意 04
相互作用 05
その他の注意 06
製品の構成 10
製品・付属品の確認 10
別売品 11
各部の名称 12
測定器 12
表示画面 13
穿刺器具・穿刺針 14
センサー（フォラケア ホームセンサー） 15
各種設定 16
日時の設定 17
測定結果の消去 19
音量の調整 20
血糖値の測定 22
手順１　測定の準備 22
手順２　穿刺器具の準備 23
手順３　測定 25
手順４　あとかたづけ 27
測定結果の呼び出し 29
測定結果の表示 29
平均値の表示 30
保守・点検 31
コントロール液による点検 31
測定器の保守 33
トラブルの対処 35
エラーメッセージ一覧 35
故障かなと思ったら 37
仕様 39
保証 40

安全上の警告・注意

ここでは、本測定器を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項をまとめてあります。必ずよく読んでからご使用ください。

警告

1. 家庭で測定した結果は必ず医師に伝えた上で、医師の治療方針に従う。
2. 実際の血糖値より高値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないこと。〔その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。〕
   - プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者
3. 本体及び専用センサーでの測定結果について疑問を感じた場合は、速やかに再度測定を行う。それでも疑問に感じるときは医師に相談すること。
4. 新生児には使用しないこと（安全性のデータがない）。
5. 一度使用した血糖センサーは再使用しないこと。
6. 酸素吸入療法中の患者には使用しないこと。

以上、添付文書より一部抜粋

重要な基本的注意

1. 指先から採血する場合は、穿刺前に、必ず流水でよく手を洗うこと。
2. 果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがある。[アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告がある。]
3. 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、血糖値が偽低値を示すことがあるため、静脈血等他の部位から採血した血液を用いて測定すること。
   - 脱水状態
   - ショック状態
   - 末梢循環障害
4. 耳朶等、組織が薄い部位への穿刺を行うと、組織を貫通した針先で指を穿刺することがあるため、穿刺部位の裏側を直接指で支えないこと(血液を介した感染のおそれがある)。貫通のおそれがある場合には、他の組織の厚い部位での穿刺について検討すること。
5. 本取扱説明書をよく読んでから使用すること。また、組み合わせて使用する血糖センサーや穿刺器具の添付文書もよく読んでから使用すること。

以上、添付文書より一部抜粋

相互作用

1. アセトアミノフェン、アスコルビン酸、L-ドパ、メチルドパ、ガラクトース、トラザミド、マンノース、尿酸、トリグリセリドの濃度が異常に高い場合、実際の血糖値より高い値を示すことがある。
2. プラリドキシムヨウ化メチルにより、実際の血糖値より高い値を示すことがある。
3. ヘモグロビンを多く含む検体を測定した場合、実際の血糖値より低い値を示すことがある。
4. ヘパリン以外の抗凝固剤・解糖阻止剤入りの採血管に採血された検体を測定した場合、測定値が異常値を示す場合がある。
5. 酸素の影響があるため、毛細血管以外から採血した血液は使用しない。
6. 酸素分圧の高い血液では測定値が低くなる場合がある。
7. ヘマトクリット値が低い場合には測定値が高めに、ヘマトクリット値が高い場合には測定値が低めにでるおそれがある。

以上、添付文書より一部抜粋

その他の注意

全般的な注意	
警告	血糖値を測定する以外の目的に使用しないでください。
警告	測定には血液を使用するため、血液由来の感染に注意し、血液の付いた器具やティッシュペーパーなどは他の人が触れないようにしてください。測定器が汚れたら必ずクリーニングを行ってください。
危険	製品に破損などの異常が見られる場合には使用しないでください。
危険	小児の手の届かない場所に保管してください。 電池、センサー、ランセットなどは誤飲の恐れがあります。万一飲み込んだときは、すぐに医師へご相談ください。
危険	分解・修理・改造をしないでください。
注意	温度10～40℃、湿度85%以下の条件で測定を行ってください。
注意	測定器やセンサーを保管していた場所と使用する場所の温度が大きく違う場合は、使用する場所にしばらく置いて温度の差をなくしてから使用してください。
注意	測定器をしばらく使用しなかった場合、測定器に強い衝撃を与えた場合、又は測定結果が自覚症状と異なると感じる場合などは、添付文書に従って、測定器が正常に作動しているか確認してください。
注意	穿刺部位については医師の指示に従ってください。

自己検査用グルコース測定器（測定器）について	
注意	強い電磁波を発生する恐れのある器具や機器（携帯電話など）の近くで使用しないでください。
注意	測定器にほこりや水が入らないようにしてください。
注意	強い衝撃（高いところから落とす、ぶつける）を与えないでください。
注意	測定器のセンサー挿入口に血糖センサー以外のものを入れないでください。
注意	直射日光、高温多湿を避け、40℃以下の場所で保管してください。
注意	表示画面に「」が点灯したら、電池を交換してください。

自己検査用グルコースキット（センサー）について	
警告	「フォラケア ホームボイス」には必ず専用の「フォラケア ホームセンサー」をご使用ください。
警告	センサーは体外診断用医薬品です。人体に投与することは絶対に避けてください。
警告	毛細管血以外から採血した血液は使用しないでください。血漿や血清は使用できません。
警告	センサーを再使用しないでください。

自己検査用グルコースキット（センサー）について	
注意	汚れた手、濡れた手で取り扱ったり、長時間手の中で保持したりしないでください。
注意	センサーを測定器にさし込むときは無理に力を入れて折り曲げたりしなしないでください。
注意	測定中はセンサーを動かさないでください。
注意	センサーはボトル開栓後90日を過ぎて使用しないでください。また、外箱とボトルに記載されている使用期限が過ぎている場合は、90日以内であっても使用しないでください。
注意	高温多湿を避け4～40℃で保管してください。結露の恐れがあるため、急激な温度変化は避けてください。
注意	ボトルから取り出したセンサーはすぐに使用してください。また、ボトルのふたをすぐに閉めてください。
注意	使用しないセンサーはボトルに入れて保管してください。
注意	センサーを他のボトルに移し替えないでください。

単回使用自動ランセット（ランセット）／ 採血用穿刺器具（穿刺器具）について	
警告	各製品の添付文書／使用上の注意をよく読んでからご使用ください。

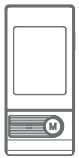
コントロール液について	
注意	点検を行うときは、必ず「フォラケア ホームセンサー用コントロール液」をご使用ください。
注意	ボトル開栓後90日を過ぎて使用しないでください。また、ボトルに記載されている使用期限が過ぎている場合は、90日以内であっても使用しないでください。
注意	使用前にボトルをよく振り、最初の一滴を捨ててから使用してください。
注意	凍結を避け、2～30℃で保管してください。

製品の構成

製品・付属品の確認

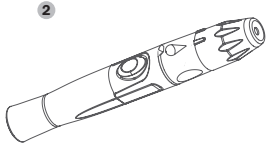
「フォラケア ホームボイス」機器セットには次のものが含まれていますのでご確認ください。
機器セット以外の商品をご購入になった場合、実際の内容品については外箱に記載されている「構成品」をご覧ください。

1



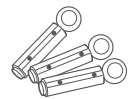
測定器1台
(フォラケア
ホームボイス)

2



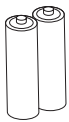
穿刺器具1本
（フォラケア
ランシングデバイス）

3



穿刺針1箱
（フィンガー
ランセット）

4



単4アルカリ乾電池
2本

5

専用携帯ケース1個

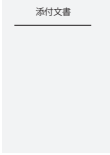
6

取扱説明書1部
（本書）

⑦

簡易取扱説明書1部

⑧

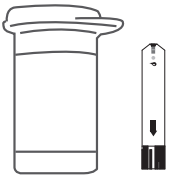


添付文書（測定器、穿刺器具、各1部）

⑨

保証書（本書最終ページ）

別売品



フォラケア ホームセンサー

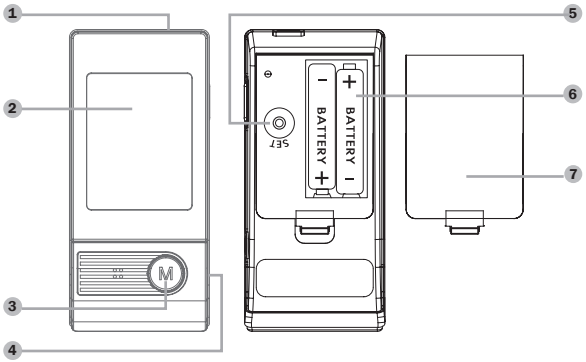
フォラケア ホームセンサー用コントロール液

注意

- お手元の「フォラケア ホームボイス」機器セットに不足の品がある場合は、ご使用なさらずに、弊社までご連絡ください。
- 「フォラケア ホームボイス」には必ず「フォラケア ホームセンサー」をご使用ください。
- 本製品や検査用器具は、小児の手の届かないところに保管してください。センサー、ランセットなどは誤飲の恐れがあります。万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

各部の名称

測定器



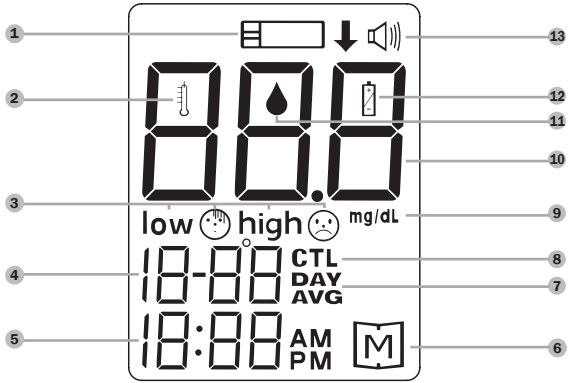
表面　　裏面

1. センサー挿入口
2. 表示画面
3. 主ボタン（Ⓜ）
4. 外部入出力端子（社内校正用のため使用できません。）
5. 設定ボタン（SET）
6. 電池
7. 電池カバー

参考

電源を切るときは、Ⓜボタンを3秒間押し続けてください。

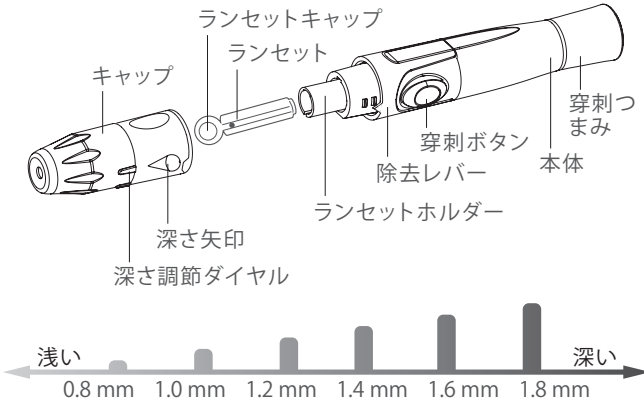
表示画面



1. センサーマーク
2. 温度計マーク
3. 測定結果補助アイコン
4. 日付
5. 時間
6. メモリーマーク
7. 平均値表示
8. コントロールモード
9. 測定単位
10. 測定結果表示部
11. 血液マーク
12. 電池容量マーク
13. 音声設定マーク

穿刺器具・穿刺針

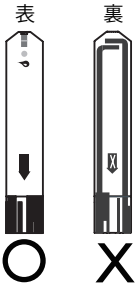
「フォラケア ランシングデバイス」（以下、穿刺器具）に使い捨ての「フィンガーランセット」（以下、ランセット）を挿入してお使いください。ご使用の際は各製品の添付文書／使用上の注意をよくお読みください。



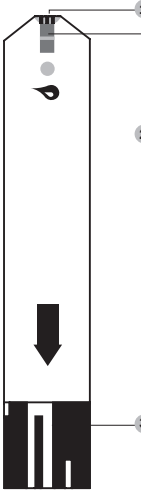
警告

- 穿刺器具は感染を防ぐため他人との共用は避けてください。
- ランセットは再使用できません。使用の都度廃棄してください。
- ランセットは滅菌処理されております。使用期限を過ぎたものは使用しないでください。

センサー（フォラケア ホームセンサー）



センサーを挿入する際は、センサーのおもて面を手前にしてください。



1 血液吸引口
血液を点着します。

2 確認窓
センサーに血液が十分に吸引されたことを確認します。

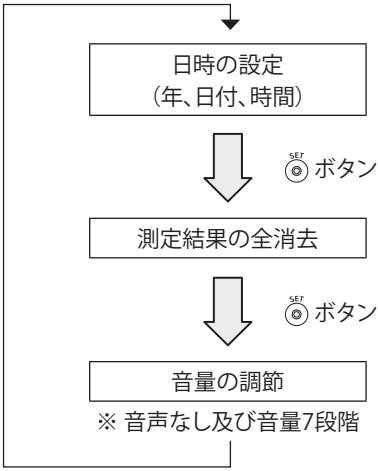
3 挿入部
測定器のセンサー挿入口に差し込みます。

警告

- 「フォラケア ホームセンサー」以外のものは使用しないでください。
- センサーは外箱及びボトルに記載されている使用期限内で、ボトル開栓後90日以内のものをご使用ください。

各種設定

電源がOFFの状態で裏面 SET ボタンを押すと、自動的に電源がONになり各種設定（日時設定、記録の消去、音量調節）ができます。
各設定画面の構成 は以下のとおりです。



注意

- 初めて使用するときは付属の電池をセットし、日時の設定と音量を調節してください。
- 2分間操作を行わないと、自動的に電源がOFFになります。

日時の設定

下記の手順で、日時を合わせてください。Ⓜボタンを押すごとに数字が加算されます。

1. 年号（日付）

「年（西暦）」の下2桁が点滅します。Ⓜボタンを押して現在の年号に合わせます。
SET ボタンを押すと、「年号」が確定し、点滅が「月」に移ります。49まで数えた後、05に戻ります。

2. 月（日付）

Ⓜボタンを押して現在の月に合わせます。
SET ボタンを押すと、「月」が確定し、点滅が「日」に移ります。

3. 日（日付）

Ⓜボタンを押して現在の日に合わせます。
SET ボタンを押すと、「日」が確定し、点滅が「時」に移ります。

4. 時（時間）

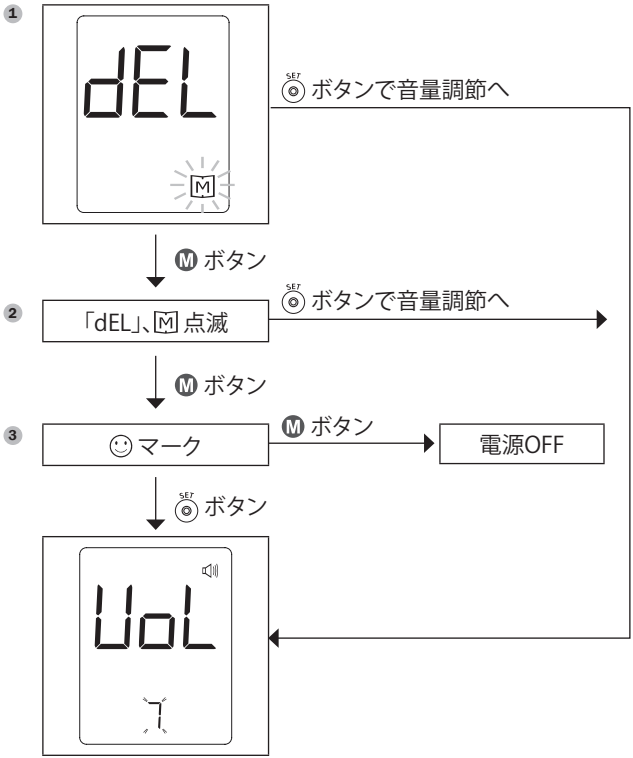
Ⓜボタンを押して現在の時刻に合わせます。
SET ◎ ボタンを押すと、「時」が確定し、点滅が「分」に移ります。（時刻は12時間表示で、AM/PMが切り替わります。）

5. 分（時間）

Ⓜボタンを押して現在の分に合わせます。
SET ◎ ボタンを押すと、「分」が確定し、「dEL」が表示され Ⓜ が点滅します。

測定結果の消去

測定器に記憶されている測定結果を全て消去します。
SET ボタンを押すと測定結果の消去をスキップして、音量の調節に移ります。



①「dEL」が表示され Ⓜ が点滅

SET ボタン– 測定結果の消去をスキップして、音量の調節に移ります。

Ⓜ ボタン – 消去の確認画面に移ります。(「dEL」、Ⓜ が点滅)。

②「dEL」と Ⓜ が点滅

SET ボタン – 測定結果の消去をスキップして、音量の調節に移ります。

Ⓜ ボタン – 測定結果が消去され、☺マークが表示されます。

③☺マークが表示

SET ボタン – 電源がOFFになります。

Ⓜ ボタン – 音量の調節に移ります。

音量の調節

音声ガイダンスの音量が設定できます

Ⓜ ボタンを押すと「Vol」表示の下の数字が変わります。聞きやすい音量に調節してください。

0: 音声なし
(ボタン操作のクリック音は残ります。)
1〜7:数字が大きくなるほど音量が大きくなります。
(🔊 が点灯します。音声ガイダンスは次ページを参照して下さい。)

音声ガイダンス：

操作	音声案内
センサーを感知し、電源がONになった時	はじめの音楽の後に“血液をセンサーに吸引させてください。”のアナウンスが流れます。
測定が終了した時	測定値を読み上げます。（例）“測定値は○○ミリグラムパーデシリットルです。”
測定値が測定範囲（20～600mg/dL）を超えた時	“血糖値が測定範囲外となったため、測定不可能です。”
測定結果の呼び出し画面で、測定値が表示された時	測定値を読み上げます。（例）“測定値は○○ミリグラムパーデシリットルです。”
電源がOFFになった時	終わりの音楽が流れます。

以上の操作が終わったら、SET ボタンを押します。設定が確定され、電源がOFFになります。

血糖値の測定

手順１　測定の準備

①測定に必要なものを用意する

- フォラケア ホームボイス
- 穿刺器具（フォラケア ランシングデバイス）※
- 穿刺針（フィンガーランセット）※
- フォラケア ホームセンサー（別売）
- 必要に応じてご自身でご用意いただくもの。
  （ティッシュペーパー、アルコール綿、廃棄容器、自己管理ノート、筆記用具など）

※穿刺器具・穿刺針は他社製品もお使いいただけます。

②手を洗う

指先から採血する場合は、穿刺前に必ず流水で良く手を洗い、十分に乾かしてください。手洗い後、アルコール綿などで穿刺する部分を消毒する場合も、穿刺部分を十分に乾かしてください。

③センサーの取扱い

- 吸湿を防ぐため、センサーを取り出したらすぐにボトルのふたを閉めてください。
- 新しいボトルを開けたときは開栓日をボトルラベルに記入してください。
- 開栓後90日を過ぎたセンサーは使用しないでください。また、90日以内であっても、外箱及びボトルに記載されている使用期限が過ぎている場合は使用しないでください。

注意

- 果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがあります。アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分な場合がありますので、必ず流水で手洗いしてください。
- 耳朶等、組織が薄い部位への穿刺を行うと、組織を貫通した針先で指を穿刺することがあるため、穿刺部位の裏側を直接指で支えないでください（血液を介した感染のおそれがある）。貫通のおそれがある場合には、他の組織の厚い部位での穿刺について検討してください。

手順２　穿刺器具の準備

❶ キャップの取り外し

穿刺器具の本体を持ち、キャップを図-1の方向に回して取り外します。（①→②）

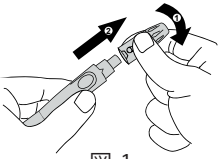


図-1

❷ ランセットの準備

ランセットホルダーをしっかりと押さえながら、ランセットを奥までさし込みます。（図-2a）

ホルダーにさし込んだ状態で、ランセットを押さえながら先端のランセットキャップを数回ねじり、引き抜きます。（図-2b）

※ランセットキャップはランセット廃棄時に使いますので捨てないでください。

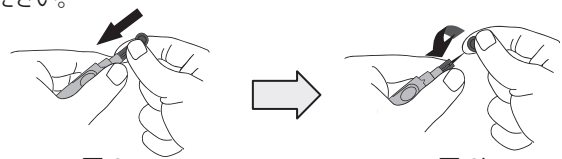


図-2a　　図-2b
（※針先に注意）

❸ キャップの取り付け

キャップのへこみと本体の突起を合わせてキャップを取り付けます。
キャップを①の方向にさし込んだら、②の方向に「カチッ」と音がするまで回します。(図-3)

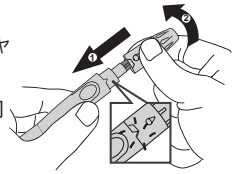


図-3

❹ 穿刺の深さの調節

深さ調節ダイヤルで穿刺の深さを選びます。深さは6段階で、バーの長さが長いほど穿刺の深さが深くなります。(図-4)

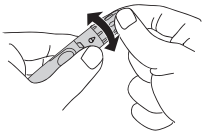
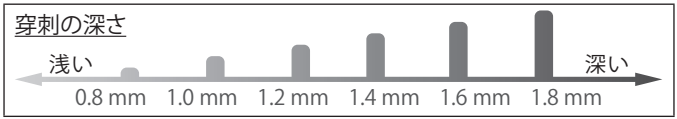


図-4



❺ ランセットの固定

穿刺つまみを「カチッ」と音がするまで引くとランセットが固定され、「穿刺ボタン」が白からオレンジに変わります。
穿刺つまみを引く際はキャップではなく、必ず本体を持ってください。(図-5)

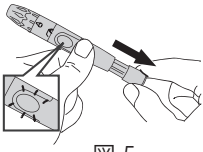


図-5

手順3　測定

❶ 測定器の準備

センサー挿入口にセンサーを入れます。
「CH」が表示 された後、🩸マークが点滅する
のを確認してください。(図-1)

図-1

❷ 穿刺

手順2で準備した穿刺器具のキャップの先端
を穿刺する部分にしっかりと当てます。
「穿刺ボタン」を押すと穿刺されます。
(図-2)

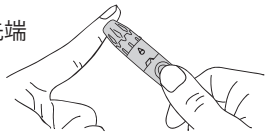


図-2

※　写真は指先で穿刺する場合です。

参考

同じ場所で繰り返し穿刺すると、痛みが強くなったり、皮膚が硬化したりする場合があります。その場合は穿刺位置をずらすなどしてください。

❸ 採血

穿刺した部分の周りを軽く押し、血液を出します。
測定には0.7μLの血液が必要です。血液の玉がつぶれないように注意して、ゴマ粒大の血液を出します。

球状になっている

広がっている

❹ 血液の点着

マークが点滅していることを確認し、センサー先端の血液吸引口に血液を付けます。(図-4)
この時、確認窓全体が血液で満たされるまで、センサーを血液から離さないでください。

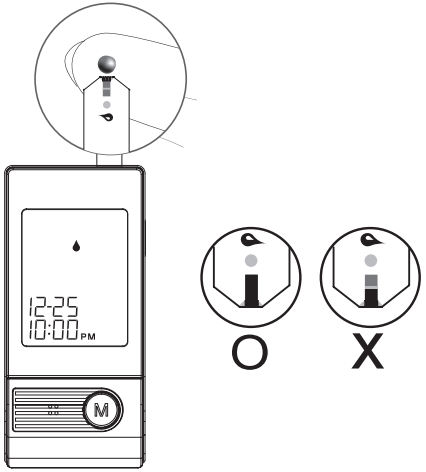


図-4

注意

- センサーをさし込んで3分以内に血液を点着しないと、電源が自動的にOFFになります。血液点着前に電源がOFFになってしまったときは、一度センサーを抜いて、もう一度入れ直してください。
- センサーを穿刺部位に押し付けないでください。
- 一度血液の付いたセンサーは再使用せず、新しいセンサーで測定してください。

❺ 測定結果の表示

十分な血液が吸引されると、自動的に測定が開始され、7秒後に測定値が表示 されます。（図-5）

測定値は自動的に測定器に記憶されます。測定結果の呼び出しは本書P.29をご覧ください。

図-5

測定結果によっては測定値以外の情報（下記アイコンやエラーメッセージ）が表示される場合があります。エラーメッセージについては本書P.35をご覧ください。

low	測定値が20～69mg/dLの場合
high	測定値が201～600mg/dLの場合

手順４　あとかたづけ

❶ センサーの廃棄

穿刺した部分をティッシュペーパーやアルコール綿で押さえ、止血します。

血液吸引口を触らないように注意して、センサーを測定器から抜き取ります 。電源が自動的にOFFになります。

❷ ランセットの廃棄

穿刺器具の本体を持ち、図のようにキャップを回して取り外します（①→②）。この時ランセットの先端が露出しているので取扱いには十分注意してください。（図-2a）

ランセットキャップを安定した台の上に置きます。図のようにランセット部分を持ちながら先端部をランセットキャップ中央部にさし込みます。（図-2b）

廃棄容器に向けて除去レバーを押しだすとランセットが外れます。（図-2c）

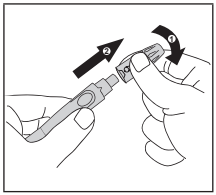


図-2a

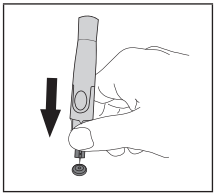


図-2b

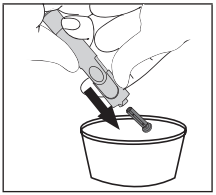


図-2c

注意

- ランセットキャップを手に持ったまま操作しなしでください。
- 使用済みのランセットとセンサーは医療廃棄物として取り扱ってください。

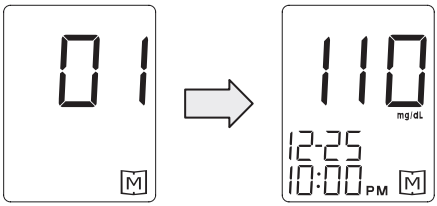
測定結果の呼び出し

記憶された個々の測定結果及び平均値（7、14、21、28、60、90日間）を呼び出し、表示させます。最大450件（測定日時を含む）の測定結果を記憶することができます。

測定結果の表示

電源がOFFの状態で Ⓜボタンを押すとメモリーモードに入り、Ⓜ が点滅します。

Ⓜボタンを押すごとに番号、続いて測定結果が表示されます。測定結果は最新のものから表示されます。



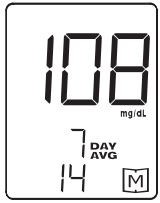
最後の測定結果が表示された後にⓂボタンを押すと、「End」が表示され、電源がOFFになります。

測定件数が記憶容量を超えると、最も古い測定結果が消去され、最新の結果が記憶されます。

平均値の表示

電源がOFFの状態で Ⓜ ボタンを3秒以上（「DAY」、「AVG」が点滅するまで）長押しします。Ⓜ ボタンを押すごとに過去7、14、21、28、60、90日間の順で平均値が表示されます。

90日間の平均値が表示された後に Ⓜ ボタンを押すと、「End」が表示され、電源がOFFになります。



注意

- 該当する測定結果がない場合、「— — —」が表示され、電源がOFFになります。
- 2分間操作を行わないと、自動的に電源がOFFになります。

保守・点検

コントロール液による点検

測定器及びセンサーが正しく機能していることを確認するために、以下の場合には「フォラケア ホームセンサー用コントロール液」（2本セット・別売）を用いて点検を行ってください。

- 測定器やセンサーが正常に機能していないと感じる場合
- 測定結果が自覚症状と異なる場合
- 測定器を落とすなど、強い衝撃を与えた場合
- しばらく測定器を使用しなかった場合

❶ 測定器の準備

センサー挿入口にセンサーを入れます。「CH」が表示された後、💧マークが点灯したら Ⓜ ボタンを押します。表示画面（日付の右横）に「CTL」が点灯し、コントロールモードになります。（図-1）
このモードで測定した結果はメモリーに記憶されません。通常の測定モードに移動する場合はもう一度 Ⓜ ボタンを押してください。

図-1

❷ コントロール液の点着

コントロール液のボトルをよく振ってからキャップを開けます。最初の1滴を捨て、ボトルの先端をティッシュペーパーでふきます。気泡が入らないように注意しながら次の 1 滴をキャップの先端に落とします。（図-2）
使用するコントロール液の順番はどちらからでも構いません。

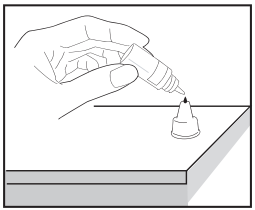
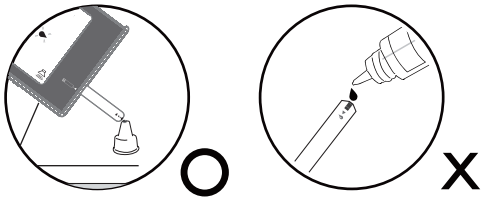


図-2

◆マークが点灯していることを確認し、センサー先端の血液吸引口にコントロール液を付けます。(点着の方法についてはP.26をご参照ください。)



コントロール液が汚染されるのを防ぐため、ボトルから直接センサーに吸引させないでください。

ボトルの先端とキャップ先端の液をティッシュペーパーでふき取り、キャップをしっかりしめます。

❸ 結果の表示と評価

十分な液量が吸引されると、自動的に測定が開始され、7秒後に測定値が表示されます。

上記の操作を2種類の濃度(中濃度、高濃度)について行い、表示された値が両方ともセンサーボトルのラベルに記載されている許容範囲に入っていれば正常です。どちらか一方でも範囲から外れた場合は、以下の点に注意して再度測定を行ってください。それでも範囲から外れる時は、医療機関又は弊社にお問い合わせください。

- 「フォラケア ホームセンサー用コントロール液」を使用していますか?
- センサーのロットにより許容範囲は異なります。使用したセンサーのボトルに記載されている許容範囲と比較していますか?
- コントロール液又はセンサーの使用期限が過ぎていませんか?(使用期限内であっても、開栓後90日を過ぎたものは使用できません。)
- コントロール液のキャップを外したまま、長時間放置していませんでしたか?(吸湿によりセンサーが劣化している可能性があります。)
- センサーをボトルから取り出したまま、長時間放置していませんでしたか?(吸湿によりセンサーが劣化している可能性があります。)

測定器の保守

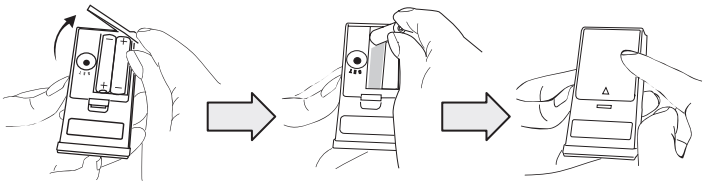
1. 電池の交換

「フォラケア ホームボイス」には単4アルカリ乾電池2本を次の手順でセットしてご使用ください。

裏面の電池カバーを外し、古い電池を取り出します。

プラス／マイナスの方向を確認し、新しい電池をセットします。

電池カバーを元に戻します。

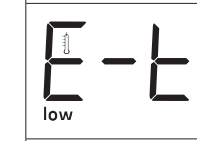
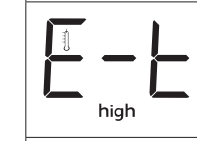
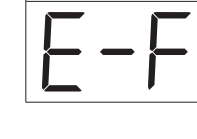


2. 測定器のお手入れと保管

- 測定器の外側を掃除する場合は、水や70%アルコールで湿らせた布で拭いた後、柔らかい乾いた布で拭いて乾かしてください。水で洗い流さないで下さい。
- 測定器の掃除にその他の有機溶剤を使用しないでください。
- 小児の手の届かない場所に保管してください。
- 落とすなど、大きな衝撃を与えないでください。
- 直射日光、高温、高湿を避け、40℃以下の場所で保管してください。
- 冷蔵庫・冷凍庫では保管しないでください。

トラブルの対処

エラーメッセージ一覧

コード	原因	対応
	電池容量の不足。	新しい電池に交換してください。
	使用済みのセンサーが挿入された。	新しいセンサーを挿入してください。
	室温（外気温）が低い。	測定器とセンサーを10～40℃の環境にしばらく置いた後、再度測定してください。
	室温（外気温）が高い。	測定器とセンサーを10～40℃の環境にしばらく置いた後、再度測定してください。
	測定の途中でセンサーが抜かれた。	新しいセンサーで再度測定してください。

	メモリー機能に故障が発生している可能性がある。	一度電源を切ってから、取扱説明書に従って新しいセンサーで再度測定してください。同じエラーコードが表示される場合は、弊社にお問い合わせください。
	電気回路に故障が発生している可能性がある。	一度電源を切ってから、取扱説明書に従って新しいセンサーで再度測定してください。同じエラーコードが表示される場合は、弊社にお問い合わせください。
	測定値が測定可能範囲（20～600mg/dL）を外れている。	新しいセンサーで再度測定してください。同じエラーコードが表示される場合は、高血糖又は低血糖が疑われます。速やかに医師に相談し、指示に従ってください。

故障かなと思ったら

センサーを挿入しても測定状態にならない	
考えられる原因	対処方法
電池容量が低下している。	新しい電池に交換してください。
電池の取付け向きが正しくない。	電池を正しい向きに入れ替えてください。
センサーの向きが正しくない。	上下、裏表を確認して、センサーを正しい向きに挿入してください。
測定値がおかしいと感じるとき	
考えられる原因	対処方法
「フォラケア ホームセンサー」以外のセンサーを使用した。	「フォラケア ホームセンサー」を使用してください。
センサーが損傷している。	新しいセンサーで再度測定を行ってください。
センサーの使用期限が切れている。	使用期限内のセンサーを使用してください。 使用期限はセンサーの外箱及びボトルに記載してあります。
センサーのボトルを開栓してから90日が過ぎている。	ボトルを破棄し、使用期限内のボトルを開栓してください。
血液量が少ない（測定値が低いと感じる場合）。	測定には0.7μLの血液が必要です。新しいセンサーで十分な血液を吸引させて再度測定を行ってください。

血液を点着しても測定（カウントダウン）が始まらない	
考えられる原因	対処方法
センサーを挿入してから3分経過した後に血液を吸引させた。	センサーを挿入してから3分間血液が検知されないと、電源が自動的にOFFになります。新しいセンサーで再度測定を行ってください。
血液量が少ない。	測定には0.7μLの血液が必要です。新しいセンサーで十分な血液を吸引させて再度測定を行ってください。
センサーが損傷している。	新しいセンサーで再度測定を行ってください。

以上の対処方法で問題が解決されない場合は、医療機関又は弊社にお問い合わせください。

仕様

名称		フォラケア ホームボイス
寸法（幅x高さx厚さ）		45mm x 96mm x 23mm
重量		76.2g（電池を含む）
電源		1.5 V 単四アルカリ電池x 2
メモリー		日時付き測定結果最大450件
測定範囲		20～600mg/dL
必要血液量		0.7 μL
使用環境	温度	10℃～40℃
	湿度	85%RH以下（結露のないこと）
保管/運搬条件	直射日光、高温、高湿を避け、40℃以下の場所	

保証

保証期間 3 年

「フォラケア ホームボイス」の保証期間はご購入から３年間です。保証期間内に故障した場合は交換いたします。

以下に該当する場合は保証の対象外となりますのでご注意ください。

◎ 使用上の誤り、不当な修理により生じた故障、損傷
◎ 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた故障、損傷
◎ 火災や地震などの天災・地変による故障、損傷
◎ 購入後の移動・輸送などによる故障、損傷
◎ その他当社の責によらない故障、損傷

※ 保証書の再発行は致しませんので、本書最終頁の保証書を大切に保管してください。
※ 保証書は日本国内においてのみ有効です。

本製品に関するお問い合わせ先
株式会社フォラケア・ジャパン
TEL: 03-5782-7627
（土・日・祝日を除く９：００～１７：４５）

保証規定

- 保証期間は、お買い上げ後３年間です。
- 保証期間内に故障した場合は無償で製品の交換をさせていただきます。
- ただし、下記の場合は保証期間であっても有償になります。
  イ．使用上の誤り、不当な修理により生じた故障、損傷
  ロ．取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた故障、損傷
  ハ．火災や地震などの天災・地変による故障、損傷
  ニ．購入後の移動・輸送などによる故障、損傷
  ホ．その他当社の責によらない故障、損傷
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

品質保証書

このたびは、弊社の血糖測定器をお買い求めいただき、ありがとうございました。本機器は厳重な検査を行ない高品質を確保いたしております。しかし通常のご使用において、万一不具合が発生しましたときは、お買い上げ後3年間は製品の交換をさせていただきます。

品名　フォラケア ホームボイス

製造番号(シリアル番号)

お名前

ご住所

Tel.

本機器の保証は、日本国内での使用に限ります。
This warranty is valid only in Japan.

入手先名

住所

Tel.

お買い上げ年月日　　年　　月　　日

本保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。

製造販売元　株式会社フォラケア･ジャパン
東京都港区港南2丁目11番18号天王洲デュープレックス101号室

本製品に関するお問い合わせ先
株式会社フォラケア・ジャパン
TEL: 03-5782-7627 (土・日・祝日を除く9：００～１７：４５)
www.foracare.co.jp